

資料 2

平成 29 年度 公民館主催事業計画書

公運審提出日 9 月 27 日

No.	実施館	事業名 (講座の名称)	事業目的	事業の主旨	期間・回数	学習内容	主な講師
1	柳沢	教養講座 Part 1 自然健康法～東洋 の健康法でストレ スを解消し元気を 養う～	学習・ 自己実現	健康に対する市民の 関心は非常に高い。 老若男女誰でも自然 に無理なくできる自 然健康法を体験しな がら自然の気配の感 じ方や江戸人の身の こなし方についても 学ぶ。	11 月 15 日 (水) 11 月 22 日 (水) 11 月 29 日 (水) 全 3 回	①「ストレスを解消するには」 「元気を養う方法」・自然健康 法の基本 1～呼吸法の基礎～ ②「自然の気配を感じる」・「自 然と一つになる」・自然健康の 基本 2～樹林気功～ ③「江戸の風水と富士山・江戸 人の身のこなしに学ぶ」・自然 健康法の基本 3 スイッチ・波動功	出口衆太郎 (日中健康セ ンター気功・太極拳主任 指導員、自然身法研究会 主宰、江戸健康法・風水 研究家 <著作>「身の こなしのメソッド・自然 身法」「体感パワースポッ ト～風水気功の知恵で大 自然の気と一つになる 他」
2	柳沢	まちづくり講座 部活「地域デビュ ーわっはっは！」 ～地域デビューイ ベントの企画に参 加しませんか～	地域づく り	高齢者がいきいき と、楽しく、暮らし やすい、元気なまち づくりのために、地 域デビューを応援す る人を増やす。	11 月 18 日・25 日、 12 月 16 日、1 月 13 日・20 日・27 日、2 月 17 日、3 月 3 日・10 日・ 17 日 土曜日 全 10 回	・地域デビューについて考える (まちづくり円卓会議報告) ・西東京市の地域資源を知る ・イベント企画、広報について 学び、地域デビューイベント を実践する	熊田博喜 (武蔵野大学) まちづくり円卓会議メン バー 市民活動支援センターゆ めこらぼ、地域包括支援 センター、社会福祉協議 会ほか

3	柳沢	柳沢公民館開館 30 周年記念事業 記念講演会「わたしたちの公民館 ～その可能性を考えよう～」	学習	公民館のなりたちと役割を学び、その可能性について考える。	11 月 19 日（日）	講演と市民によるレポート ・公民館のなりたちと役割について学ぶ。 ・市民によるレポートと他地域の事例から公民館の可能性について考える	長澤成次（千葉大学名誉教授・日本社会教育学会会長）
4	柳沢	雇用・労働問題講座 「シリーズ 将来不安を生きる（2） ～働き方改革でどう変わる？」	学習	残業時間の上限規制を中心に「働き方改革」について考える	11 月 25 日（日）	宅急便業者の事例を糸口に、残業時間の上限規制について考える。	青野恵美子（明治大学労働教育メディア研究センター・客員研究員） 高須裕彦（一橋大学フェアレイバー研究教育センター・プロジェクトディレクター）
5	柳沢	柳沢公民館開館 30 周年記念事業 「ふれあう仲間 ゆたかな未来 ーありがとう！ 柳沢公民館開館 30 周年ー」	交流	柳沢公民館が本年 4 月 1 日に開館 30 周年を迎えたことを記念して、公民館利用団体・利用者による実行委員会が企画・運営する記念事業を実施する。	12 月 5 日（火） ～12 月 10 日（日）	・作品展示 ・ワークショップ ・サークル見学会 ・発表会	
6	田無	歴史講座 田無村とゆかりのある「 こそうえん 顧想園」を訪ねて	学習・ 自己実現	・地元田無の歴史を学ぶことで地域への関心を高め、仲間との更なる学習に繋げる。 ・地元住民が守った文化財村野家の貴重な建造物を市民に紹	11 月 21 日（火） 11 月 28 日（火） 全 2 回	・江戸時代後期から明治初期の田無村の町並みや暮らしを名主下田半兵衛家代々の功績とともに学ぶ。 ・「顧想園」（村野家）のボランティアによる案内で見学し、村野家と田無村下田家との関わりも学ぶ。	近辻喜一（郷土史研究家・田無地方史研究会代表） 黛 隆一（顧想園サポートクラブ代表） 郡司恒夫（顧想園サポートクラブ会員）

				介し、先人の暮らしに思いを馳せる。			
7	田無	料理講座「知ってビックリ！食べてウツトリ！～旬菜のソコデカラ～」	学習・自己実現	地域で収穫した野菜を用いた講義と調理実習を通して、地域の資源を見直し、食料自給率の問題を考えるきっかけとする。	11月23日 (木・祝)	・野菜の基礎知識、旬についての講義、試食。流通している野菜と市内で収穫した野菜の比較、食べ比べ。 ・農業体験農園「きたっばら」体験者の講義。 ・市内産の野菜を用いた調理実習、試食、交流、感想の共有。	きむらゆうこ（スマイルキッチンきむら代表、野菜ソムリエ）
8	田無	現代的課題を考える講座「このまちに子どもの居場所をつくるために」	学習・自己実現	まちづくりの一環として子どもの居場所づくりを進めるために何が出来るか考え合う。	1月6日（土）～ 2月10日（土） の毎週1回 全6回	西東京市の不登校の実態を参加者同士共有し、子どもたちが何時でも立ち寄れる居場所づくりにつなげたい。	木本ゆう（NPO日向ぼっこ） 渡邊憲土（丹誠塾塾長） 島田幸夫（適応指導教室経験者） 岸田久恵（猫の足あと代表） 古林美香（放課後カフェ）
9	芝久保	第35回芝久保公民館まつり主催事業 0歳からのドキドキライブ	地域づくり	公民館まつりの盛り上げに貢献するほか、公民館に気軽に足を運んでもらうきっかけを提供する。	11月26日（日）	小さな子でも参加できるリズム遊びを交えながらのコンサート。予定演奏曲：切手のないおくりもの、いつも何度でも、風になりたい、ふるさと、赤とんぼ、演奏者オリジナル曲ほか	青沼 愛（フルート、ピアノ） 青沼詩郎（歌、ギター、パーカッション）

10	芝久保	ステンドグラス講座	交流	ステンドグラスへの興味・関心から講座に参加してもらい、公民館を知り、身近に感じてもらう。	12月6日(水)～1月31日(水) ※12/27、1/3、1/10を除く。 全6回	基本的な知識、制作方法の習得や初心者でも作れる簡単な作品制作。 ちいさな展示会に展示し、お互いの作品鑑賞をする。	本保佐季子(ステンドグラス作家)
11	谷戸	SNSトラブルを回避するために～自覚を持たせるための情報モラル～	学習・自己実現	SNS利用において子どもの安全が脅かされているという問題があり、トラブル解決のため、SNS利用の現状を知り、学校や家庭における教育を見つめなおす。	12月16日(土) 12月23日(土) 全2回	SNSを安心して利用するための家庭内コミュニケーションを考え、SNSを安全に使うためのメディアリテラシーを把握する・ ・子どものSNS利用の現状 ・家庭での指導方法 ・メディアとの上手なつきあい方 ・プログラミング的思考の育て方	酒田郷平(静岡大学 教育学部学術研究員。専門は、教育工学、授業デザイン) 塩田真吾(静岡大学 教育学部 学校教育講座・准教授。専門は、教育工学、授業デザイン。)
12	谷戸	子ども向け多文化共生講座 英語にふれてハワイを知ろう	学習・自己実現	グローバル社会が進んでいくと考えられ次世代を担う子どもたちは世界的な視点が必要とされるため異国の生活・文化を知り多様な考え方があることを理解する機会とする	12月23日(土)	英語にふれながら ・ハワイの生活や文化を学 ・ゲームや制作を行う	Andy Hayashi(ハワイ出身)

13	ひばり	地域を考える講座 ハッピーをデザインする！ ～地域学校協働について学ぶ～	地域づくり	複雑多岐に渡る地域課題の解決、未来に向けた取り組みなどのために、ひばりが丘地域で関係する団体・他機関と関係性を作っていく事を目的とする。	11月25日（土）	・講演、グループワーク ・当日の講座に向けて、講座参加者にも一緒に考えてもらいながら、検討していく。 ・講座後には参加団体や市民と個別に対応しながら、講座について振り返りをするなど、一連のプロセスを大事にし、関係性も高めていく。 ・講座ニュースを発行し、講座に参加しなかった人にも内容を発信していく。	中曽根 聡（杉並区社会教育センター主事、西東京市元公民館運営審議会委員）
14	ひばり	防災講座 「my 減災マップ づくり&防災まち歩き」	地域づくり	地域の特性や防災課題について近隣住民同士が意見を出し合い確認し合うために、オリジナルの減災マップづくりと防災まち歩きを行う。	12月3日（日） 12月17日（日） 全2回	・オリジナルの「減災マップ」を作成。グループで話し合いながら、自分が暮らす地域で起こるかもしれない災害の情報を地図に書き込むことで、この地域の特性を確認し合う。 ・自分で作成したマップを手に、防災まち歩きを体験し、防災の視点でわが街をとらえ直す。館に戻ってからグループに別れて情報交換。	鈴木 光（減災アトリエ主宰・防災図上訓練指導員・工学院大学客員研究員） 地域防災活動団体 西東京レスキューバード代表 荘 雄一朗 他メンバー
15	駅前	シネマ経済学	学習・自己実現	経済学を身近なものとして興味を持ち、今後の人生のヒントなることを目的とする。	11月15日（水） 12月13日（水） 全2回	皆が知っている以下の2本を題材にして、分かりにくい現在の経済の歴史と仕組みを学ぶ。	宿輪純一（帝京大学 経済学部 教授。慶應義塾大学 経済学部 非常勤講師。経済学博士。映画評論家。ボランティア公開講義「宿輪ゼミ」代表）

